

特集 10面

マンホール改築に革命を。 「ジックボードJ工法」

●非開削での施工も可能です。(夜間や休工日に道路開放が可能で、作業ヤードの確保が小スペースで済みます。)

(公財)日本下水道新技術機構 建設技術審査証明新規取得
自立更生工法・複合更生工法・防食工法をトリプル取得
※ジックボードM工法、ジックボード工法含む

【断面構成】

- 新設調整リング
- ジックグリッド
- ジックボード裏面立体クロス
- ジックグラウト
- ジックボード
- FRPジョイント材
- 既設マンホール

図：既設マンホール改築断面イメージ

【工法概要】
ジックボードJ工法は、腐食や老朽化により耐荷力が期待できない既設マンホールに対して、更生材のみで新設マンホールと同等の性能を有する自立マンホール更生工法である。

施工前

施工後

JR JERコンクリート補改修協会 管路部会

事務局

〒651-2116 神戸市西区南別府一丁目14番6号(日本ジッコウ(株)内)
TEL:078-977-0701 FAX:078-977-0722 E-mail: info@jer.jp

<http://www.jer.jp>

右のQRコードからJER補改修協会のホームページにアクセスできます▶▶



特集 43面

JERコンクリート補改修協会

ジックボードJ工法

新設マンホールと同等に

ジックボードJ工法は、腐食や老朽化により耐荷力が期待できない既設マンホールに対して、更生材のみで新設マンホールと同等の性能を有する自立マンホール更生工法で、(公財)日本下水道新技術機構から建設技術審査証明第1907号を取得しました。

本工法の施工は、既設マンホール内面に、強度を向上させるためのジックグリッドを固定した後、高耐食性ビニルエステル樹脂製FRP板の裏面に立体クロスを一体成型した

複層板(以下、ジックボード)を隙間を設けて設置し、この隙間に無機質系グラウト材(以下、ジックグラウト)を充填します。これらのジックボード、ジックグラウトおよびジックグリッドが一体化した更生材の構成により新設マンホールと同等の耐荷性・耐震性等を有する工法です。

また、①耐硫酸性(硫酸腐食環境下でも耐食性を維持)②接着安定性(接着基準強度を維持)③遮断性(コンクリートへの硫酸侵入を遮断)を併せ持った工法です。

